

# よもよも vol.1



「よもよも」は、ティーンズコーナーのおすすめ本を紹介していきます。

## 「スロウハイツの 神様」

上・下


辻村 深月(著)

Fツジ

スロウハイツはクリエイターやその卵たちが住むアパート。自分の夢に向かってひたむきに、お互い刺激しあう住人たち。そこへに新たな住人・謎の美少女が引っ越してきてから、徐々に変化が起こり・・・

それぞれの秘密、抱える過去、謎の人気作家の正体は？読んでいる時には気づかなかつたちょっとした伏線が、できすぎな位気持ち良くはまっていくラスト。うれしかったり、悔しかったり、キュンとしたり、いろんな気持ちが味わえて、読み終わった後、優しくて幸せな気分になれる物語です。


「本が好き」って、一度でも思ったことがあるのなら、きっと心に響く言葉が見つかるはず。本を読んで楽しくなったり、がんばろうって思ったり。ささいなことだけど、自分にとってはすごく大切なこと、楽しみや嬉しさが生きる力になったり。そういう本をみつけてみませんか？



# 「春期限定 いちごタルト事件」

米澤 穂信（著）

Fヨネーブンコ



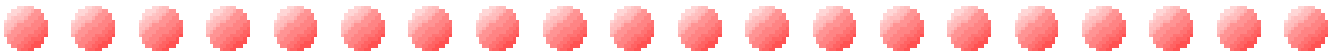
おいしいココア  
つくれます！

ちょっと変わった“高校デビュー”を夢みる2人。推理力があり、小賢しい知恵をひけらかしてしまう小鳩君と、すぐに激しい復讐心をもやし攻撃をしてしまう小佐内さん。そんな2人が目指すものは『小市民になること！』その目標のために彼らは互恵関係を結んでいる。しかし、ついつい2人は小市民になることを忘れて、様々な事件に首を突っ込んでしまい…。

ミステリーだけど人は死なず、日常の中に潜む謎をなんだかんだ言い訳しながら解決していく2人がおもしろい！彼らの絶妙な掛け合いもオススメ♪

『小市民シリーズ』と呼ばれるこのシリーズは、他にも、「夏期限定トロピカルパフェ事件」や「秋期限定栗きんとん事件」上・下があり、どれも人気！！

（詳しくは右を→） タイトル通り、おいしいスイーツの話も出てきますよ。  
挿絵の可愛いさもまた魅力。





# 「ハンター」

ジョイ・カウリー（著）

Nカウ

19世紀、少年ハンターは奴隷として生活していました。一方、現代に生きる少女ジョーダンも弟と乗っていた飛行機が事故にあってしまいます。

危機に陥ったジョーダンを助けたのは、ハンターからテレパシーのようなものでおられる知恵や技術でした。彼女たちを助けていくうちにハンターは、奴隷生活からの逃亡を決意するのです。

ページをめくると衝撃的な挿絵が目にとまるはずですが、しかし読み進めると、驚きの結末を体感できるのでは？



## 小市民シリーズ

春

愛するいちごタルトを奪われ、  
復讐にもえる小佐内さん。

夏

“小佐内スイーツセレクション・  
夏”と銘打って小鳩くんを連れまわす小佐内さん。

秋

恋とはどんなものかしらと彼のために尽くし、  
かつ、裏で暗躍しまくる小佐内さん。

冬？

・・・どんな小佐内さんがでてくるのかな？（未刊）



勝手に

# 装丁大賞！

どんな内容か分からないけど、装丁が良ければついつい手にとってしまう・・・ということはありませんか？「ジャケ買い」ならぬ「ジャケ読み」してしまうほどのステキ装丁。このコーナーでは、本の内容は関係なし！この装丁が好き！！と思う本を勝手に決めて紹介していきます。

第1回装丁大賞は、この本↓です。

「汚れつちまつた

悲しみに…………

中原中也詩集」集英社

何が良いかって、それはもう、浅田弘幸の絵です！（ちなみに、浅田弘幸は漫画家。図書館にはないけど「テガミバチ」「11(アイル)」が有名です。）

雪の中たたずむ、多分中原中也をイメージしたアンニュイな青年のイラストが表紙。

「汚れつちまつた悲しみに  
今日も小雪の降りかかる・・・」  
タイトルにもなっている詩との世界感もぴったりです。

ふだん詩なんて読まないから、詩の良し悪しなんて分からないけど、読んでみるとけっこう良いんです。『ゆあーん ゆよーん』とか書いてる詩もあったりして、かたくるしくないし。生きるのに不器用な人だな～と思われる、詩人のことばを読んでもみるのも、たまには良いかもと思える本でした。

H23年4月 精華町立図書館 発行